

青梅市図書館を使った調べる学習コンクール

調べる学習のすすめかた

青梅市中央図書館

①何を調べる？ ～テーマを決めよう～

1. テーマを決める時のポイント

***興味のあることからみつけよう。**

- ・なんてだろう？って思ったことはないかな？
トマトはなぜ赤い？ 海はなぜしょっぱいの？
麒麟の首はなぜ長い？ 塩はいつから使われていた？
- ・好きなもの、好きなことの中からはてな？をさがそう。
好きな食べ物、スポーツ、のりもの、動物、人物、
アニメ、マンガ、音楽、ゲーム
- ・身近ことの中からはてな？をさがそう。
学校で習ったこと、おうちにあるもの、
テレビや新聞、本でみつけたこと、お出かけ先でみつけたこと

***調べたいものの中からさらにしぼりこもう。**

- ・テーマが大きすぎるとまとまりにくいので細かくしてみよう。
例：水（大きいテーマ）→水道水（中くらいのテーマ）→
どうして水道水は飲めるのか？（細かいテーマ）
- ・どうして？どうやって？なぜ？など、はてな？の形（疑問形）にすると
テーマがしぼりこみやすいよ。
例：「恐竜について」ではなく「恐竜はどういう進化をしたのか？」

***テーマが決まらないときは、好きな本をみてわかったこと、疑問に思ったことなどを
みつけてからテーマを決めるのもいいかもしれないね。**

2. このテーマにしたのはなぜ？

- ・まとめるときに、自分がこのテーマを選んだ理由、きっかけを書こう。
- ・テーマについて興味を持ったきっかけなどをメモしておくといいよ。

3. 疑問に思ったことの答えを予想してみよう

- ・調べる前に、自分なりの考えや知識をつかい、疑問に思ったことの答え、結果を予想してみよう。
- ・まとめるときに、予想→調べた内容→答え（結果）→感想（考察）の順に
書くとまとめやすくなるよ。

② 調べるときのポイント ～いろいろな調べ方～

1. 本で調べよう

- ＊2～3冊の本を調べて、書いてあることをくらべてみよう。
 - ・1冊だけでは調べられなかったことがわかるかもしれないよ。
- ＊百科事典をみてみよう。
 - ・百科事典は50音順で「もの」や「こと」について調べられる。写真やデータものっているよ。
- ＊最新の情報かな？ 調べる本が出版された年や何年前のデータなのかを確認しよう。
 - ・「新種が発見された」「ランキングが変わった」「ルールが変わった」など、今と昔でちがうこともあるから、調べる本を探すときにたしかめよう。

2. インターネットで調べよう ～そのWebサイト、その情報、本当に正しい？～

- インターネットを使うといろんな情報が出てくる。どれが正しいか迷ったら、次のポイントをチェックしてみよう。
- ＊公的機関や専門施設など、信頼できるWebサイトか確認しよう。
 - 例：青梅市観光協会、青梅市郷土博物館
 - ＊情報を書いている人は専門家？ プロフィールを見てみよう。
 - ＊いつの情報をのせているかわかる？ 更新日をたしかめよう。

3. 新聞で調べよう

- ＊調べた新聞記事は、参考文献リストに書こう。
- ＊図書館では、過去の全国紙の新聞記事も調べられるよ。

自分でたしかめたいときは、こんな調べ方もあるよ。

4. 実際に行ってみよう

- ＊博物館、資料館などの施設見学や工場見学に行ってみよう。
- ＊パンフレットなども読んでみよう。写真を撮るときは、撮影可能か確認すること！

5. インタビューしよう

- ＊まずは相手に、何のために話を聞きたいのか説明し、インタビューをしていいか聞こう。
- ＊質問を決めておき、時間を守ってインタビューしよう。会話を録音するときは相手に確認すること！
- ＊インタビューした人に、名前や職業などを作品に書いていいかどうか、たしかめること！

6. 実験や観察をしてみよう

- ＊はじめに、何を調べるのか、どんなふうに進めるのか、何回やるのかなど、実験や観察の計画を立てよう。
- ＊写真を撮るときは、日付、時間、場所、天気、気温、撮影した人などを記録しておこう。
- ＊実験や観察の参考にした本やWebサイトについても、参考文献リストに書こう。

③ 参考・引用文献一覧をつくろう

1. どうして「参考・引用文献一覧」をつくらなきゃいけないの？

- ・この情報が「どの本」の「どこに載っていたか」を伝えるため・忘れないため
- ・本の情報は誰かが調べたり、考えたりしたことなので、それを「参考にしました」と伝えるため
→これは、著作権（その考えや文章を書いた人の権利）を守るための大切なルールです。人が調べたことや考えたことを、勝手に使う（盗む）ことはしてはいけません。

2. 参考・引用文献一覧のつくりかた

- ・リストにある項目は埋めよう。「わからない」「全部」とは書かないように。
- ・出版年や出版社名は本の「奥付」に書いてあります。

記入例（図書）

著者名	書名	出版社名	出版年	使ったページ	図書館名 請求記号
青梅市教育委員会／編	おうめ文化財さんぽ	青梅市教育委員会	2019	p.6-7、p.84	青梅市中央図書館 290 オ

記入例（新聞）

記事を書いた人の名前	新聞記事名	新聞紙名	発行年月日	朝夕刊	ページ
		西の風	2021.1.23	夕刊	3 面

記入例（WEB ページ）

WEB ページを 制作した人・団体	WEB ページ名	WB サイト名	最終更新 年月日	URL	最後に 見た 年月日
青梅市図書館	「裏宿七兵衛」が映像 になりました	青梅市図書館	2021.1. 23	https://www.library.ome.tokyo.jp/news/?id=133	2021. 5.30

別紙「調べる学習でインターネットを利用する」も参考にしてみてください。

ヒント！ 参考・引用文献一覧はすぐに作ろう

参考文献は、調べた時や、調べたことをまとめながら一緒に書いておこう。また、一度本を返却しなければいけないときも、奥付の内容をメモしておけば、もう一度図書館で本を探すときに役に立つよ。

④ まとめよう

1. 表紙をつけよう

- ・タイトル(題名)と学年、名前を書こう。
- ・読んでみたくなるようなタイトルをつけよう。

テーマを別の言葉で言い表すとどんなタイトルになるかな。

例:「恐竜はどんな進化をしたのか?」→「恐竜は今も生きている!?!」

2. 目次をつけよう

- ・作品の何ページに何が書いてあるのかを表すため、目次をつけよう。
- ・目次は表紙の次につけますが、書くのは作品が全て出来上がってページが決まってからにしよう。

3. 調べた理由を書こう

- ・なぜそのことを調べようと思ったのか説明しよう。

例:「～だから調べようと思いました。」「～なので調べたいと思いました。」

4. 調べたことを書こう

- ・予想、調べ方の説明、本に書いてあったこと、答えをだすためにしたことなどを書こう。

***調べたことを書くときに、どうしても本の文章や写真、グラフをそのまま使いたいときは引用しよう。**

～引用の書き方～

- ・文章を引用するとき

使いたい文章を「 」の中に書き、その後に(著者名、書名、出版社、出版年、ページ)を書きます。

例: 本で調べたらこう書かれていました。

「植物によっては標高 6150mもの高地でも育つことができる。」

(サラ・ホゼ、「世界の植物大図鑑」、河出書房新社、2020、P105)

- ・図、絵、グラフ、写真を引用するとき(コピー、書き写しなど)

図や写真を書いたりはったりした近くに(著者名、書名、出版社、出版年、ページ)を書きます。

例:



(花火プロジェクト、「花火のひみつ」、青梅出版、2020、P15)

5. まとめよう

調べたことについての答え、結果、感想、考察などを書こう。

結果をもとに、つぎに調べてみたいこと、もっと調べてみたいことなども書くのもいいね。

6. 参考・引用文献一覧を書こう

調べた本、引用した本の著者名、書名、出版社名、出版年、ページ数など、必ず書こう。

⑤ 提出前にチェックしよう

- ☐ 見直しはしましたか
- ☐ 目次は作成しましたか
- ☐ 参考・引用文献一覧はきちんと記入してつけていますか
- ☐ 応募カードをきちんと記入しましたか

わからないことや困ったことがあったら図書館のカウンターできいてください。